

1月のえんだより

2025年1月1日 十和田めぐみ保育園長

～ あけましておめでとうございます ～



新しい年がスタートして、子どもたちの元気な声が戻ってきました。静かな園が一気に華やいでいます。

お正月休みは、ご家族やご親戚など、皆様お揃いで新しい年を迎えられたと思います。子どもたちからは「おじいちゃん、おばあちゃんの家に行った」「お年玉貰った」「お餅食べたよ」など、お正月のお話をたくさん聞かせて貰いました。今年も健康で過ごせますように。皆様にとって良い年になることを願っています。

十和田めぐみ保育園では、毎年保育始めに、職員たちが和装で子どもたちを出迎え、子どもたちもお着物を着て登園してきたり、園のお着物を着てお正月の雰囲気を楽しんでいます。さっそく朝から昔遊び(かるたやトランプ、すごろく、こま回し、羽根つき)などを、お友だちや先生と一緒に楽しみました。お正月遊びを通して、少しでも日本の風情や風習を感じられたらうれしいです。また、異年齢で遊びながらお兄さんお姉さんたちからゲームの遊び方やルール、勝敗の面白さを教えて貰います。いろいろな体験から成長できるように、楽しい保育を組み立てて行きたいと思います。

今年は、例年に比べてお正月前から雪が多く、子どもたちは雪遊びを楽しむことができます。この時期にしかできない雪遊びを積極的に楽しみながら、寒さに負けない体づくりをしていきたいと思います。

今年も職員一同、心新たにお子様たちのために頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



1月は多文化理解(マルチカルチャー)の月です

多文化理解の基礎は、自国の文化を知り、親しむことです(大きくなった時に誇りに思えるように!)。お出かけしてきたところや、行ってみたいところなど、地域の特性、食べ物や名所など、まずは日本の文化に触れていきます。そして、幸い身近に外国出身の方がいて園に来てくださるので、ロシア、フランスなどの文化に楽しく触れてみます。素敵なのですよ～! また、子どもたちが興味ある国についてもいろいろ調べてみたいと思います。ぜひこの機会に、ご家庭でも地図を広げたり、また、出かけたいところや出かけて来たところなどを話題にして、一緒に楽しんでみましょう!! お家の壁に、日本地図や世界地図を貼ってあげると、興味も増しますね!!

今月の予定

4日(土)、6日(月) 保育始め(お正月遊びを楽しもう)*この日は和装で日本の文化(お正月遊び)を楽しみますよ。

8日(水) ロシアデー(ユーリヤ先生の妹さんのマーシャさんが来てくださいます)

9日(木) 避難訓練

15日(水) お誕生会(フランスデー)
*おやつはフランスのお菓子「ガレット・デ・ロワ」

16日(木) レイン先生との活動(うぐいす)

17日(金) レイン先生との活動(ひばり)

28日(火) こま回し大会

31日(金) シャンタルさんとの活動

お知らせ

★ガレット・デ・ロワってなに?

1月のお楽しみの一つが、フランスの行事「レピファニー」です。この日に食べるのが、「王様のケーキ」という意味の「ガレット・デ・ロワ」。最近是有名パティシエがこぞって売り出しています。園ではお料理の先生が毎年手作りしていますよ。アーモンドクリームをパイ生地で包んだ美味しい焼き菓子です。フェーヴという玩具が入っていた子は王様(女王様)になり、好きなお相手を選ぶという習慣があるそうなので、園でもやっています。

★食事で世界旅行!!

今月の献立、はマルチカルチャーを楽しむために、給食の献立やおやつにいろいろな国の料理を取り入れてみました。まずは日本のお正月料理からスタートし、様々な国の料理に触れながら、自国や他国への興味や憧れを抱いたり、食べる楽しみから他国を知る機会にもなればと思っています。

ご家庭でもぜひ地図を見ながら話題にして楽しんでみてください。

★駐車場の注意、お願い★

雪が予想されると、翌朝の除雪のために、園庭の中央入り口の柵を開けて帰ります。17時に開けることにしていますので、夕方のお迎えの際は、お子様が一人でそこから出入りしないよう、事故等に十分にお気をつけ下さい。

また、駐車場のラインが見えにくくなるため、駐車できる台数が減ります。お迎えに時間がかかる場合は川側の第三駐車場に車をお停めください。ご不便をおかけしますがご協力お願いいたします。



この時期、体調不良のため外には出ずに室内で過ごさせて欲しいという依頼があります。体調に合わせた保育に努めていますが、集団なので個別の対応が難しいことがあります。職員配置などの状況によっては、他の年齢のクラスで過ごして待つしかないこともあるのですが、これだと実際は感染の危険を他クラスに広げることにもなります。外に出られない子の人数が多ければ、クラス全体で外遊びを断念しなければならないこともあります。できるだけ体調を整えてからの登園をお願いします。また、寒くて出たくない子もいます。暖かい肌着や襟付きの服、暖かいジャンパー、手袋、帽子等をお願いいたします。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

おゆうぎ会(12月7日)

子どもたちはこの日をとても楽しみにしていました。大勢の方がおいで下さりたくさん拍手と応援、本当にありがとうございました。

おゆうぎ会当日は、踊りきった子もいれば、緊張して動けなかった子もいましたが、それもまた成長の姿です。日頃どのように練習をしてきたか、その過程が大事だと思っています。子どもたちは本番が近づくほどに、もっと可愛くポーズしたいとか、もっとカッコよく踊りたいというような、表現に対する積極的な気持ちや工夫が見られました。この子どもたち一人一人の気持ちの変化を、今後の保育にも繋げていきたいと思っています。

おゆうぎ会が終わっても余韻が残っていて、ステージに上っては「せんせい、曲かけて～」と、楽しんでいました。何の曲が掛かっても大丈夫！だって全～んが覚えているもん!!の子どもたちです。



鮭の解体(12月12日)

この日のメニューは「鮭のちゃんちゃん焼き」。午前中に調理の先生に鮭をおろして見せてもらいました。子どもたちは釘付けでした。切っている最中に、子どもたちに給食に出てくる魚を聞いてみると、「カレイ、タラ、サバ、赤魚、ししゃも、鮭」と、たくさんの種類の魚を答えてくれました。日頃、朝の会や食事の時間に、先生たちのお話を良く聞いているんだなと感じました。

切り落とした頭や骨を見て「おお～おおっさい!!」などと、歓声も上がってしましよ。エラ、背びれ、胸びれ、尾びれなどの部位を教えて貰ったり、オス、メスの見分け方などを聞き、じっくりと観察していた子ども達でした。食事中には、「ヒレもあったよ」と、切り落とされたヒレを見つけた子もいて、1匹の魚で、いろいろな発見や学習ができました。



うまサンタがやってきた!! (12月20日)

この日、子どもたちが戸外で雪遊びを楽しんでいると、向こうから来たのは・・・?! トナカイならぬお馬と何人ものサンタさんです。急なサプライズに驚きを隠せない子どもたちは、お馬を見つけても誰も声を出さずにいました。中には後ずさりする子も。少しして状況が分かってくると、「お馬さんだ!!」と大喜びでした。

来てくださったのは、十和田乗馬倶楽部の一戸さんたちと、シルビアちゃん、ラン君の2頭です。クリスマスプレゼントを持ってきてくれました。プレゼントを貰った後には、一緒に写真を撮ったり、年長児さんは乗馬体験もさせて貰いました。乗り心地をきくと、「揺れて、ちょっと怖かった」「毛が気持ちよかった」「可愛かった」などと、感想を言っていました。素敵なおクリスマスプレゼントになりました。十和田乗馬倶楽部様、ありがとうございました!



可愛いつぶやき

「命を頂く」

鮭をさばくところを物珍しそうに、じっくりと見ていた子どもたち。

切り落とした魚の頭を順番に間近で見せてあげると、「かわいそう～」という声も聞かれました。食卓に並ぶ切り身のお魚では、もしかしたら感じる事ができなかった感情かもしれません。

子ども達には「いつも食べているお魚もお肉も、お野菜も、たくさんの命をいただいているんだよ」とお話しをするいい機会になりました。

その日の食事は、いつも魚だと箸が進まない子も、珍しくお代わりをして食べていました。命をいただくありがたみが、少しでも響いてくれるといいな。

マルチカルチャー(レイン先生)

今年最後のレイン先生との活動は「クリスマス」がテーマでした。レイン先生の母国フィリピンのクリスマスの様子を見せて貰うと、きれいなイルミネーションがたくさんで、賑やかなクリスマスに子どもたちも目をキラキラさせて見ていました。クラフトは、チームごとに星や長方形の形を切ってオーナメントにしました。形の名前をおさらいしてみると、覚えている子もたくさんいて驚きました。ゲームでは、形カードの下に隠れたクリスマスワードを探し、間違ったら「oh! NO~!」正解なら「good job!」みんな、当てて欲しくて一生懸命に手をあげていましたよ。



おもちつき会(12月27日)

うぐいすさんが竹島先生や泉山さんと一緒に田んぼで育てたもち米で、お餅つきをしました。

初めにお正月についてのお話や、みんなで苗から育てた稲の思い出を振り返りました。いよいよお餅つき。蒸し上がった餅米のにおいに「おいしそ～」 「早く食べた～い」と言っていた子どもたちです。泉山さんの力強い餅つきに合わせ「よいしょ! よいしょ!」と声を合わせて応援しました。自分の番が回ってくると、力いっぱい杵を持ち上げて頑張っていました。年長児さんは、竹島先生や調理の克子先生からお供え餅の作り方を教えて貰ったり、午後にはしめ縄作りも体験しました。昔の人は藁を生活に使う材料として様々に利用していたことを知り、稲作にまつわる言葉や習慣に触れることができました。

